



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イエメン：治安情勢（最近の海賊事件とりまとめ）

（9月3日～7日現地各報道）

最近のソマリア沖における海賊事件に関する現地報道。

1. 9月3日付ニュース・イエメン

1日、マレーシア外務省は、8月19日及び29日に同国船舶2隻がアデン湾で海賊にハイジャックされた事件を受けて、同船舶のモニタリングを実施する特別ユニットを設置するとともに、イエメン政府及びソマリア「政府」に対し乗組員の無事解放に向けた努力と協力を申し入れたと発表した。同声明の中でマレーシア政府は、海賊事件に巻き込まれている各国に対して、国連に海賊問題を議論するよう提案した。

2. 9月3日付サフワ紙

3日、イエメン内務省は、過去数日の間に5隻の漁船が公海上でエリトリア人海賊に襲撃・略奪を受けたと発表した。この漁船に乗っていたイエメン人漁師36名は2日にホデイダ港に帰港した。紅海のホデイダ沖における海賊事件は今月で3件目。他方、アデン湾沖でも外国船の海賊被害が増加している。

3. 9月4日付シャーシャー紙

3日、仏外務省は、2名のフランス人がソマリア沖での海賊行為によって誘拐されたと発表した。海事関係者は、仏船舶が旅行者を乗せてアフリカ東部地域に向かって航行していたところ、海賊に襲撃されたとしつつ、フランス人2名に加えて他の観光客も乗船していたと見られると話した。今年に入り現在までに30隻以上の船舶が武装したソマリア人海賊によって拘束されている。

4. 9月6日付アイヤーム紙

5日、マレーシアの海事関係者は、相次ぐ海賊事件を受けて3隻のマレーシア戦艦が同国の商用船保護のためアデン湾に派遣されたと述べた。

5. 9月7日付サウラ紙

6日、イエメン・コースト・ガードは、アデン湾沖の公海上（アデンより南に約43海里）で海賊に襲撃されたサウジ船籍の輸送船を救出した。同日午後3時頃に同船舶の救助信号を受け取ったコースト・ガードが現地に出動すると、武装したソマリア人海賊のボート3隻は逃走した。領海際までコースト・ガードがエスコートする中、サウジ船舶

は予定通りジェッダからバハレーンへの航行を続けた。

6. 9月7日付イエメン国営通信

7日、ナーセル国防相は、アドミラル・フィリップ、米「アフリカの角」タスクフォース司令官と会談し、イエメン・米間の二国間軍事協力の強化、特にテロとの闘い、海賊問題、紅海的安全航行の確保について協議した。

---

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799